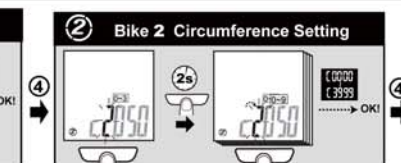
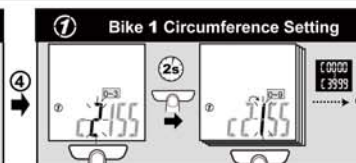
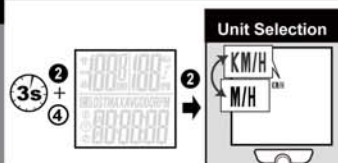
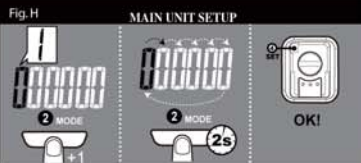


BCP-04C



BATTERY CHANGE

COIN
Battery Cap
3V CR2032

INDEX: ② MODE SET ④

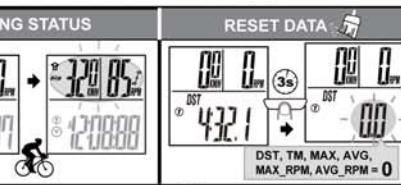
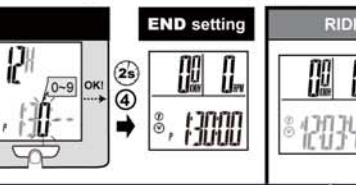
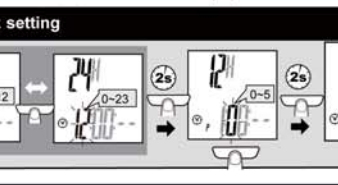
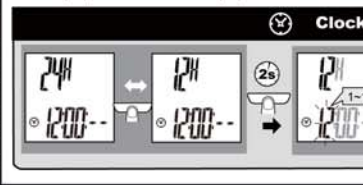
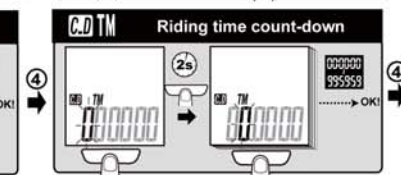
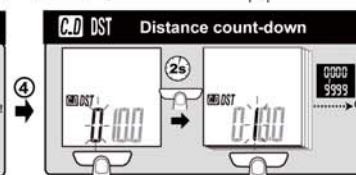
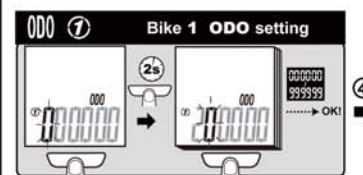
⑤ Means press button N more than 2 seconds
⑥ Means press button N quickly.
N=KEY NUMBER; ②: Mode Button, ④: Set Button

a. WHEEL CIRCUMFERENCE

2nd
1st

b. POPULAR TIRES CIRCUMFERENCE REFERENCE TABLE

Tire Size	Circumference Number
18 inch	1436 mm
20x1.75	1564
20 inch	1596
22 inch	1759
ATB 24x1.75	1888
24 inch	1916
24x 1 3/8	1952
ATB 26x1.40	1985
ATB 26x1.50	2030
ATB 26x1.75	2045
26inch (850A)	2073
ATB26x 0(650B)	2099 mm
700C TUBULAR	2117
700x20C	2092
700x25C	2124
700x28C	2136
27 inch(700x32c)	2155
700x35C	2164
700x38C	2174
27.5 inch	2253
28 inch (700B)	2234
28.6 inch	2281



FUNCTIONS OPERATION

Jap/Japanese

<設定方法>	<表示操作方法>
オールクリア モード⑥ボタンを押して3秒間保持してメインユニットを再スタートして下さい。	表示変更 モード⑥ボタンを押して選択して下さい。
設定方法 モード⑥ボタンを押して選択して下さい。	データのリセット モード⑥ボタンを押して5秒間保持して下さい。
設定項目変更 モード⑥ボタンを押して2秒間保持して下さい。	ホイール径の変更 モード⑥ボタンを押して5秒間保持して下さい。
設定機能変更 セット④ボタンを押して次の機能に変更して下さい。	モード変更終了 モード⑥ボタンを押して3秒間保持して下さい。
設定モード終了 セット④ボタンを押して2秒間保持して下さい。	オールクリア セット④ボタンを押して下さい。

サイクルコンピューターの再起動操作

1. メインユニットにはバッテリーがセットされています。モード⑥ボタンとセット④ボタンを同時に押し3秒間保持してメインユニットを再スタート、オールクリアして下さい。
 重要 サイクルコンピューターを使用する前に必ず再起動操作をして下さい。再起動操作をしないとエラー表示が出ることがあります。
 2. 再起動操作で液晶画面は自動的に表示スタートされます。
 3. モード⑥ボタンを押して画面の表示がスタートして下さい。"Km/h"が点滅します。
メインユニット装着/取外し感知機能
 サイクルコンピューターには測定データを往々にするためにメインユニットがブラケットから取外しを感知して装着、取外しを感知する機能があります。メインユニットはブラケットに装着された時にのみホールセンサーからの信号を受信します。
オート・スタート/ストップ、オート・パワーオン/オフ機能
 1. サイクルコンピューターは自転車の走行時に自動的にデータ測定を開始し測定を止めず、データ測定を開始するとメインユニットの液晶画面に"マーク"が表示点滅します。

2. このサイクルコンピューターは電池の消費を防ぐために2分間データを計測しない自動的に電源をオフにして"0"現在時刻を表示します。モード⑥ボタンで押すと再び電源がオンになります。

データリセット

液晶表示が高速度でモード⑥ボタンを押して下さい。サイクルコンピューターのDST、TM、MAX、AVG、M-RPM、A-RPMデータがリセットされます。

ホイール周長

- 正確なホイール周長の計測方法 (図.a) ホイールの空気バルブが最も低い位置に移動させて地面に最初の印を付けて下さい。次にホイールの空気のバルブが回転するまで自転車を真っ直ぐに走らせて地面に2番目の印を付けて下さい。最後に最初と2番目の印の間の距離を計測して下さい。この測定値をホイール周長としてサイクルコンピューターに入力して下さい。
- ホイール周長早見表 (図.b): 早見表から適当なホイール周長値を参照して下さい。

メインユニットの電池交換

1. 電池が消耗すると"電池マーク"がメインユニットの液晶画面に表示されます。
 2. 数分中に新しいバッテリーと交換して下さい。
 3. すべての測定データは電池交換により消去されます。ODO (積算走行距離) データも消去されますので引き続き積算走行距離を維持したい場合は電池交換をする前にODOデータを別途記録し、メインユニットと設定データに積算した初期設定値と良好な数値を設定して下さい。
 4. 新しいCR2032電池と交換してメインユニットの再設定作業をして下さい。

機能

① 走行速度: 0.0 - 199.9 Km/h or 120.0 Mile/h +/- 1%
 DSTモードは、走行距離データを最後にリセットしてからの走行距離を記録して表示します。
 ② 走行速度: 192 Km/h または 120.0 Mile/h (4インチ以上) まで表示速度は、走行を停止すると、バイク1の設定では4秒間、バイク2の設定では2秒間継続して走行速度を計測して止まります。
DST: 走行距離: 0.00 - 999.99 Km or Miles +/- 0.1%
 DSTモードは、走行距離データを最後にリセットしてからの走行距離を記録して表示します。
TM: 乗車時間 0: 1. TM乗車時間は、乗車時間を最後にリセットしてからの乗車時間を積算して表示します。
 2. 走行を開始すると自動的に計測を開始します。走行を停止すると、バイク1の設定では4秒間、バイク2の設定では2秒間継続して乗車時間を計測して止まりますが自動的に乗車時間はこれらの秒数を引いた時間が表示されます。
MAX: 最高走行速度: 0.0 - 199.9 Km/h or 120.0 Mile/h +/- 1%
 MAX最高速度は、最後にリセットしてからの最高速度を表示します。
AVG: 平均速度: 0.0 - 199.9 Km/h or 120.0 Mile/h +/- 0.1%
 1. AVG平均速度は、DST+TMにより算出されています。最後にリセットしてから現在までの平均速度を表示します。
 2. TMモードは、走行速度が4秒に満たない場合は"0"を表示します。
 3. TM乗車時間が4秒以上の場合1.1秒間平均速度を表示更新します。
 4. TM乗車時間が1.0分時間以上、またはDST走行距離が1000km以上の場合"Error"エラーを表示します。メインユニットをリセットして下さい。
ODO: ① ODO-1 / ② ODO-2: 0.0 - 9999.99 Km or Miles +/- 0.1%
 1. ODO積算走行距離は、走行した距離を積算していきます。バイク1またはバイク2は別々に走行距離を積算します。
 2. ODO1、ODO2のデータはメインユニットのリセット操作ではリセットはできません。
CLOCK: 時刻表示 12HR AM/PM or 24HR Clock
 1. 00:00 - 12:59:59 AM/PM or 0:00:00 - 23:59:59 +/- 0.003%
 現在時刻を1.0分間隔で表示します。4秒間継続して表示します。
RPM: ケイデンス RPM (1分間のペダル回転数): 0-199rpm +/- 0.1%
 1. ケイデンスRPMは、現在の1分間あたりのペダル回転数を表示します。メインユニット液晶画面の上部右側に毎秒更新されたペダル回転数が表示されます。
 2. 0 ~ 199 RPMの範囲で1 RPM単位が表示されます。ペダルの回転を止めてから4秒後にリセットされます。

AVG RPM: 平均ケイデンス

1. 平均ケイデンスは、総ペダル回転数を総ペダル時間により算出されホイールの回転とは独立して表示します。最後にリセットされた現在までのペダル時間により算出され毎秒更新されます。
 2. ペダル時間が6秒に満たないまたは総ペダル時間が10秒未満の場合に"0"が表示されます。
 3. 総ペダル回転数が100万回または総ペダル時間が10分時間以上になると"Error"マークが表示されます。このときはメインユニットをリセットして下さい。

特別機能

① DST: 走行距離カウントダウン
 カウンターが0になったときにTM、AVG、MAX、AVG-RPM、MAX-RPMデータを保持します。
 1. アラーム機能
 例: カウンターを30 kmに設定した場合、走行距離が30 kmになると"0"マークが表示されます。
 2. テスト
 例: テスト距離を1 Kmに設定した場合、自動的に走行距離が1 Kmに達するとTM、AVG、MAX、AVG-RPMデータを保持します。
 ② TM: 乗車時間カウントダウン
 1. 乗車時間カウントダウン機能は、乗車時間測定をカウントダウンからカウントアップモードに交換します。またカウンターの0になったときに"0"マークが点滅しDST、AVG、MAX、AVG-RPM、MAX-RPMデータを保持します。
 2. 乗車時間カウントダウン機能の操作は、走行距離カウントダウンと同じです。

DSTモードのみ

① DSTモード:
 DST, TM, AVG, MAX / AVG, RPM, MAX, RPMデータは自動的にリセットされます。
 2. 乗車走行時に自動的にカウントダウンを開始します。
 3. カウンターが0になったときに"0"マークが点滅しすべての測定データを保持します。
 4. モード⑥ボタンを3秒間押すと通常表示に戻ります。

トラブルシューティング

下記の注意事項をご確認ください。

問題点	確認項目	解決方法
液晶が表示されない	1. バッテリー残量は正常? 2. バッテリー装着方法は正常?	1. バッテリー交換する 2. バッテリー装着側に向くように装着する
速度が表示されない	1. メインユニット設定画面では? 2. センサーとマグネットの距離は正常? 3. ホイール周長設定は正常? 4. センサーの角度、距離は正常? 5. センサー側のバッテリー残量は? 6. 電圧降下になるものが近くにある?	1. 設定手順を参照して設定を完了する 2. 設定手順 0-1、0-4を参照し再調整する 3. ホイール周長設定手順を参照する 4. センサー側0-3を参照し再調整する 5. 新しい電池に交換する 6. 電圧降下の原因を除去する
異常表示	直射日光の下に長時間放置していない?	メインユニットの設定手順を参照し再起動する メインユニットを液晶に照らし再確認する
液晶表示が弱い	気温が0°C以下では?	気温が上昇すると正常に戻る

注意事項

1. サイクルコンピューターは雨の中でも使用可能ですが防水性はありません。
 2. 直射日光が当たる場所にメインユニットを放置しないで下さい。
 3. メインユニット及びセンサー等の分解はしないで下さい。
 4. センサーとマグネットの設置位置、距離を定期的に確認して下さい。
 5. メインユニットとブラケットの接続部分を定期的に掃除して下さい。
 6. メインユニットが汚れてもセンサー、アルコー、ベンジンの漏れが拭かれないで下さい。
 7. 常に走行中は前方に注意して走行して下さい。

① センサー
 バッテリー仕様: 3Vバッテリーx1 (CR2032)、毎日1.5時間使用/2年間使用可能
 バッテリー寿命: 約3年 (但し、工場出荷時の電池はこれよりも短くなります。)
 寸法/重量: 45.8 x 54 x 17.2mm / 33.15g
 ホイール周長: 0mm - 3969mm (1mm単位)
 使用気温: 0°C - 50°C (32°F - 122°F)
 保持気温: -10°C - 60°C (14°F - 140°F)